

平成26年度 学校評価実施報告書

学校番号 32

学校名 千葉県立船橋古和釜高等学校

課程名 全日制

領域	自己評価の結果 (達成状況、結果の分析)	改善方策 (自己評価の結果を踏まえた課題・改善の方向)
学校経営	<p>①②年度当初からアクティブスクール準備委員会を6回、教育課程検討委員会を4回開催し、新しい教育課程を決定することができた。</p> <p>③2日間実施、2大学、11名の大学生が学習サポートボランティアを実施した。</p> <p>④7月の中学生一日体験までに新制服を決定し、中学生に公表することができた。それにあわせて、新たな制服規程を作成した。</p> <p>⑤新たな取り組みとして、新入生の出身中学校別のポスターを作成し、中学校訪問時に持参し、中学校から高評価を得ることができた。</p> <p>⑥HPの更新回数が70回に増えた。(昨年度は60回)地域の回覧を前年までの行事関係だけではなく、保護者会会報も年3回回覧するようにした。</p> <p>⑦年度当初に全職員に周知徹底できるように、学校独自の安全点検実施計画と点検簿の作成し、実施することができた。</p> <p>⑧年度当初に全職員に配布し、周知徹底することができた。</p> <p>⑨若手教員チーム研修を3回実施した。若手が多い中で情報交換や悩み事の相談など有意義な研修が行われた。</p>	<p>①②次年度から、新たな校務分掌として、「アクティブスクール部」を設立。組織的にその運営を行う。</p> <p>③事前打ち合わせ等を十分に行い、職員とのコミュニケーションを十分に図れるようにする。</p> <p>④新入生に対して、新たな制服規程を理解させ、きちんとした身だしなみを心がけさせる。</p> <p>⑤年度当初から早めに準備し、全中学校別のポスターの作成を目指す。</p> <p>⑥HPについては、様々な形での情報発信が必要だと思われる。地域への回覧についてはよりタイムリーな情報発信を目指す。</p> <p>⑦実施期日、実施方法、点検簿の見直し等を行い、より効果的な方法を再度検討していく。</p> <p>⑧学校安全計画と危機管理対応マニュアルを見直し、より安全・安心な学校づくりを目指す。また、バリアフリー対応も十分なものにしていく。</p> <p>⑨意見交換できる研修や開放講座・行事の企画等、様々な場面で若手が活躍できる場を設定し、先輩教員がアドバイスできる体制を整える。</p>
学習指導	<p>①7級合格者は国語 93.3 (95.1) %、数学 58.4 (70.6) %、英語 44.7 (42.9) % [ ( ) は昨年度数値]であった。</p> <p>②7回実施し、7回全て満点が16名(11名)、6回満点で残り1回が19点が10名(12名)であった。</p> <p>③昨年度から考査2週間前から実施しており、欠点保有者数割合は1学期は3年生が頑張り、30.0% (30.8) %、となったが、2学期は若干中たるみとなり、34.2% (29.2%) という結果になった。アンケートではスタディサポートが効果的であると答えた生徒は昨年度と同ポイントの81%であった。</p> <p>④校内授業研修週間を6月の保護者面談週間とあわせて実施した。2回実施した授業公開では若手の職員が積極的に研究授業を行った。アンケートでは、「指導方法や指導内容を工夫し、わかる授業・楽しい授業に努めている」と答えた教員が98% (95%) と向上した。</p> <p>⑤生徒による授業評価は、全科目、全職員で実施した。集計結果では、1学期末では授業に対しての興味度が81%、理解度が86%、2学期末では興味度が同じく81%、理解度が82%という結果であった。</p>	<p>①「マナトレ」の効果を踏まえ、継続するとともに基礎基本の充実を徹底する。</p> <p>②目標をきちんと持たせることで、継続した努力をすることを徹底させる。</p> <p>③スタディサポートを引き続き継続しながら、教員の意識を高めることにより、よりきめ細やかな指導を行う体制を整える。</p> <p>④公開研究会を引き続き計画し、生徒の実態に即した楽しくわかる授業を目指し、様々な意見を取り入れながら、より一層の授業研修の充実を図る。</p> <p>⑤評価結果を授業改善に生かすとともに、HPへの掲載等も考慮しながら、質問項目・実施方法・集計方法等について継続的に検討する。</p>
生徒指導	<p>①②昨年度から定期指導を7回に増やした。再指導日には直してくる生徒が多くなった。</p> <p>③年度当初に、「遅刻指導計画」を全職員に配布し、教職員間の意志の疎通を図った。</p> <p>④今までの指導に加え、保護者会との連携した登校指導を2回実施した。</p> <p>⑤⑥1・2学期に面談を行い、一人ひとりの生徒との会話を大切にするとともに、いじめ・セクハラアンケートを実施した。その結果をもとに個別に面談を行い、希望者にはスクールカウンセラーとの面談を実施した。</p> <p>⑦生徒会を中心に、1回地域の美化活動を実施することができた。地域の方々からお褒めの言葉をいただいた。</p>	<p>①②保護者の理解を得ながら引き続き、再登校指導も含めた指導を継続していくとともに、生徒の自律的行動を促す指導を工夫する。</p> <p>③集計を月単位とし、翌日より早期登校指導を行うようになったが、減少にはいたらなかったもので、より効果的な方法を検討する。</p> <p>④教員とともに保護者会が連携した登校指導は効果があったと思われるので、次年度以降も計画的に行うことを検討する。</p> <p>⑤定期的なアンケートの実施や面談を通して、一人ひとりの生徒の把握に努め、その情報を共有し、教職員が一体となったきめ細やかな指導を継続的に行う。</p> <p>⑥教育相談については、生徒に対し周知徹底されていないことから、月曜日以外の昼休みの職員が担当し、教育相談室の開放を今後も継続的に実施していくことを検討する。</p> <p>⑦実施時期・方法等を再度検討し、回数を増加していく。</p>
キャリア教育・道徳教育	<p>①商工会議所、幼稚園、介護老人福祉ケアセンター等6事業所で、10名が参加した。(昨年度は7事業所19名)参加した生徒は意欲的な態度で取り組んでいた。</p> <p>②授業や進路指導と連動して資格取得を推奨している。今年度実施検定数は、4種目実施した。(昨年度同数)</p> <p>③キャリア教育の一環として本校生徒に必要なと思われるソーシャルスキルトレーニングを1年生で初めて実施した。</p> <p>④⑤グループワークは道徳を学ぶ時間、総合・LHRの時間で行った。授業研修会では、生徒が積極的に参加しているという意見が得られた。</p> <p>⑥学年単位での説明会等を実施するとともに、年間ほぼ継続的に実施した。平日の放課後や長期休業を利用して進学・就職希望者あわせて延べ200名の生徒を指導した。</p>	<p>①参加希望者と受入事業所の拡大を図る。参加者への事前指導を充実し、生徒自ら行動できるなど、さらに実りあるものにする。</p> <p>②現在実施している資格をより多くの生徒が取得を目指すように、学校全体で周知奨励していくとともに、引き続き新たな資格取得について検討していく。</p> <p>③キャリア教育の内容を指導計画に取り込むとともに、評価規準と基準を作成し、指導と評価の一体化を目指した取り組みを行う。また、初めて実施したソーシャルスキルトレーニングを検証し、次年度に向けて継続的な実施の検討をする。</p> <p>④⑤キャリア教育の一環として年間計画を組み、実践研究及び研修会を実施する。また資料の内容を精査し、生徒にあった資料を充実させ、学校全体で効果的な活用を進める。</p> <p>⑥段階的効果的な指導計画に基づき、外部機関との連携をさらに緊密にし、早期の個別対応ができるよう努める。</p>
特別活動	<p>①本年度は、陸上競技部の女子1名がやり投げで関東選手権に出場した。他の運動系部活動・文化系部活動ともに積極的に活動している。</p> <p>②教職員全体で部活動指導を行う体制が整ってきた。土日や長期休業中の活動も多くなり活発化している。部活動加入率は46.0% (42.3) と半数近くの生徒が活動するようになった。</p> <p>③市内中学校との合同練習会や大会会場として本校を開放し、生徒・職員ともに中学校との連携を図ることができた。</p>	<p>①部活動を意欲的に活動している生徒に対しての学校全体での応援・支援体制をより充実させる。</p> <p>②学校全体が活性化するための起爆剤となるよう、部活人数を確保するとともに指導方法や指導内容について情報交換できる体制を整える。</p> <p>③中学校への広報活動や交流活動を奨励し、部活動加入率の向上を図るとともに、充実した指導体制を整える。</p>

学校評価の公表について (手段・時期等)	3月10日から、ホームページを更新し、学校評価を公表する。
-------------------------	-------------------------------

領域	学校関係者評価の結果	学校評価のまとめ
学校経営	<p>①② 基礎学力を地域アクティブスクールの目標として大きく提示しているので、確かな基礎学力の定着に努めて欲しい。 地域連携アクティブスクールのスタートに向けて、本校の特色を前面に打ち出し、生徒・保護者・地域から信頼される学校づくりにより一層努力して欲しい。</p> <p>⑧ 防災訓練の時期と内容の工夫を行い実践する。安全の問題は最優先すべきことであり、予算確保に努めて欲しい。</p>	<p>①②③④⑤ 入学者選抜から、スタートする地域連携アクティブスクールに向けた選考基準等を明確にする。 入学許可候補者事前説明会を例年より早めの日程で設定し、入学準備の期間を十分に取るようにする。 1 学年生徒の出身中学校別ポスターを年度当初から準備を始め、全中学校別のポスターを作成する。</p> <p>⑥ <b>HPの更新は60回を下回らないようにし、視覚に訴えられるよう掲載方法を工夫し、情報発信の方法を工夫する。</b></p> <p>⑦⑧ 学校安全計画と危機管理対応マニュアルを見直し、より安全・安心な学校づくりを目指す。</p> <p>⑨ 職員の意識と自覚を高めるとともに、職員研修を充実させ、連絡相談体制を整える。</p>
学習指導	<p>①② 基礎学力の徹底、少人数や30人クラス編成は本校の教育活動全般において有効であるので、このまま進めて欲しい。</p> <p>③ スタディサポートは成績不振者に対し、非常に有効な指導方法であるので、今後より一層効果的な方法を検討しながら、継続して欲しい。</p> <p>⑤ <b>授業評価の在り方について、再検討し、結果を公表する。</b></p>	<p>① 新入生に対してのCB1（キャリアベーシック1）のマナトレの実施方法を十分に検討する。 2・3年生については、マナトレを継続し、基礎学力の定着を図る。</p> <p>② 常用漢字テストに対して目標をきちんと持たせることで、継続した努力をすることを徹底させる。</p> <p>③ スタディサポートを引き続き継続しながら、教員の意識を高めることにより、よりきめ細やかな指導を行う体制を整える。</p> <p>④⑤ <b>公開研究会を含め、授業公開の機会を確保するとともに、校内授業研究を積極的に行い、職員の授業力を高める。継続して、授業評価を全教員が実施し、結果を授業改善に生かすとともにHPに掲載する。</b></p>
生徒指導	<p>①②③ 「親子の会話が少ないのではないかな」学校がいくら努力しても家庭ではどうなのかという意識の問題。学校でどんなことをやっているのかという事を家庭でもっと関心を持って欲しい。 遅刻指導やマナー指導は社会に出てからの基本でもある。指導方法を再検討し、マナー全般、校則を守り、挨拶を心がけ、遅刻・欠席をしないように徹底してほしい。</p> <p>⑤⑥ 生徒相談窓口について、相談しやすい雰囲気作りを目指して欲しい。 保護者にも積極的に相談を受けられるよう、アナウンスすることが必要ではないか。</p> <p>⑦ 自治会や社会福祉協議会等との連携を密にしていくことがより必要ではないか。</p>	<p>①② 保護者の理解のもと協力体制を構築し、再登校指導など厳しい指導を継続する。</p> <p>③ 遅刻指導について、生活習慣の見直しという部分まで踏み込んだ指導を行う。家庭と連携しながら遅刻がもたらす様々な問題について理解させる。また遅刻指導について再度より効果的な方法を検討し、指導の徹底を図る。</p> <p>④ 登下校マナー指導について、保護者会と連携しながら実施時期・巡回コースを再検討し、より効果的な指導を行う。</p> <p>⑤⑥ 日常的な生徒観察・面談を通して一人ひとりの生徒の把握に努め、情報を共有し、きめ細やかな指導を心がける。 生徒相談員及び生徒相談窓口を周知し、相談しやすい体制づくりに努める。 情報の共有(定期的なスクールカウンセラーと相談員の打合せ)</p> <p>⑦ 自治会・社会福祉協議会等と密に連携し、計画する。</p>
キャリア教育・道徳教育	<p>①②③ より具体的な進路を含めたキャリア教育を入学当初から始めて欲しい。世の中の事を学校で教えてもらいたい。そうすることで、今まで見えていなかった部分のやる気が引き出されるのではないかな。</p>	<p>① 参加希望者と受入事業所の拡大を図る。参加者への事前指導を徹底し、高い意識で臨めるようにする。また、地域社会の協力を得て、これまでのインターンシップや地域行事への参加に加え、介護施設等へのボランティア活動など、社会体験の場を充実させる。</p> <p>② 現在実施している資格をより多くの生徒が取得を目指すように、学校全体で周知奨励していくとともに引き続き新たな資格取得について検討する。</p> <p>③ 教職員全員の共通理解の下、「キャリア教育の充実」を確実に図り、公開研究会の実施などを通じて、生徒の主体的な社会参画を目指す本校の姿を内外にアピールする。 また進路実現に向けて、その年間計画をより一層きめ細やかな、個に応じた指導を行う。</p> <p>④⑤ キャリア教育の一環として道徳教育も年間計画にいれ、実施する。道徳授業の実践研究及び研修会を実施する。また引き続き独自教材の収集に努める。</p>
特別活動	<p>①②③ 部活動の活躍を耳にすることがうれしい。より一層の活躍の場を提供して欲しい。あわせて、タイムリーな情報提供をお願いしたい。</p>	<p>①②③ 中学校への広報活動や交流活動をさらに充実させ、本校部活動の活動状況をアピールし、部活動加入率を更に向上させる。 HPの部活動ごとのページをさらに充実させる。</p>